

ふくろいスマイル座談会 ⑨豊沢地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 豊沢地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年10月19日(土)19時～20時30分
場所	豊沢コミュニティセンター【参加人数:28人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

市民がいきいきと活躍するまち

- 大通自治会は高齢化率が非常に高く、自治会の存続が危ぶまれている。早いうちに手をうってほしい。
⇒情報交換を密にし、支援できる部分は、支援させていただきたい。また、自治会や地域の生き残りや活性化のために意見をいただきたい。
- 高齢で運転に自信がなくなってきたので、選挙時の移動式の投票車と検診車の導入を検討してほしい。
⇒投票車は他の自治体で、導入されているところもあるので、コストや利便性を考え検討していく。また、検診車も参考にし、今後活かしていく。
- 自治会での個人情報の取り扱いについて、何がよくて、何がよくないのを知りたい。
⇒個人情報の取扱いについては、非常に複雑。法律の話と現実的な受け止め（市民感情）が違うのが課題である。自治会向けに個人情報の取扱い手引きを令和4年に作成しているが、職員でも解釈の違いがある。職員研修により、徹底してガイドラインを確認しながら対応していきたい。また、事例を作成中ですので、出来上がったらお知らせしていく。

快適で魅力あるまち

- 海のにぎわい創出プロジェクト（浅羽の海や海岸）をうまく活用し、袋井市の地域資源のアピールやキャンプ場、様々な店舗をつくり、地域内で循環できる場所、また、若者や家族連れがたくさん来る場所にして、袋井市を全国に発信してほしい。
⇒予算の許す限りやっていきたい。単発ではなくあわせ技で、新たな需要を生み出すために、様々なことをやり続けることが大切だと感じている。関係者の方々に協力をいただき、プロジェクトを進めていきたい。

活力みなぎる産業のまち

- 自治会内の農地（茶畑）が荒れているため、農振農用地の除外をして、青地から白地への転用手続きをしてほしい。
⇒農振農用地の除外は、国や県の厳しい条件をクリアしなければならない。都市計画マスタープランの地域別構想の検討の中で、地域の方と意見交換させてもらいたい。

「ご意見・ご提案」用紙から

- 誇れる眺望を活かす工夫を望む。
- 豊富な湧水（神長近辺）の利活用。
- 大量な肥料堆肥作成時における汚水流出に対する適切な対応と指導。
- 豊沢の呼称（「とよさわ」「とよざわ」）。
- 古井戸（掘抜井戸）マップを作成し、災害時の利活用を。
- 小川町の浸水被害について

（※ご意見ご提案内容のボリュームが大きいため、項目のみ掲載しました。）